

「アンドロメダ銀河と国際宇宙ステーション」

12月27日の夕刻の国際宇宙ステーションの関東地方通過は、実にすばらしい光景でした。私はいい写真を撮りたいと思い、氷点下8°Cの北軽井沢で、通過の1時間も前から、撮影の準備をしていました。今回は以下の点を「研究課題」としました。

- ①三脚を使った固定撮影ではなく、赤道儀を使って恒星を追尾し、より美しい星野(せいや)の中に光軌を描く国際宇宙ステーションを写す。
- ②アンドロメダ銀河の近くを通過するので、銀河と国際宇宙ステーションを一緒に写す。

これはなかなか難しいことです。幸い、通過の20分ほど前に天文薄明が終了し、恒星がきれいに見え始めていたので、フレーミングの練習ができました。赤道儀(恒星の動きを自動的に追尾する装置)も正常に働いています。あとは通過時刻を待つだけです。それにしても、寒い!



「北軽井沢の森を通過する国際宇宙ステーション」

2014, 12, 27 17:50 / 北軽井沢栗平 / Nikon D40 28mm F3.5 30秒露光 / タカハシ P2 赤道儀
赤道儀を使ったので、前回撮った写真とちがって、恒星が点像に写っています。この写真はちょうど天頂付近を通過している時です。見た目の速度が最も速く、光度も最大です。まるで金星が移動しているようでした。この日の自分とISSの最短距離は約430kmでした。この写真には、目的通りアンドロメダ銀河が写っています。ISSの光軌の右側です。わかるでしょうか?



「前ページ写真の解説図」

今回 ISS の通過は、観望条件が非常に良かったので、フェイスブックやメールで、事前に知人に知らせておきました。通過後、たくさんの人から感想が来ました。それを紹介したいと思います。

- ・「見ました！本当にきれいでした！都会でも見られるなんて、感激です。」
- ・「ばっちり見えました！思ったよりも動くスピードが速くて驚きました。」
- ・「息子と一緒に見ました。スーッと光りながら移動する明かりに宇宙を感じました。息子は『宇宙って何？遠い？』と不思議がっていました。」
- ・「構えて撮影しました。恒星を以前写した経験から手持ちの 4K どころです。乱視なので、被写体が二重に見えます。」
- ・「とってもよく見えました。月と同じくらい明るかったですね。ありがとうございました。」
- ・「我が家の三階の物干しからみたけどよくわからなかった！光る星はいくつも見えたのに。田中先生が配信してくださる写真を待ってます。」
- ・「流星と違ってゆっくりだし、光も一つではなくとてもわかりやすかったです。」
- ・「ありがとうございました！国際宇宙ステーション見ました。東京の自宅でも、最初は西の窓で、途中からは南のベランダでと、およそ5分間を家内と二人でたんのうしました。教えていただき、ありがとうございました！」
- ・「年の瀬にこんな感動があるなんて。本当にありがとうございました。」
- ・「ありがとうございました。娘も西新宿の新居から見えたと喜んでいました。」
- ・「私は母親と兄と家のベランダから見ました。東京でも澄んだ空で良く見えました！家族楽しんで良かったです。」

たくさんのご感想を、ありがとうございます。一瞬の感動を共有できて、よかったです。

(お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋)